

2026年度 一般社団法人野洲青年会議所

会員拡大委員会事業計画書

委員長 岩井 秀樹 担当副理事長 奥田 飛大
副委員長 岡本 大地
委員 足立 朋之、今江 祐一郎、遠藤 直子、加賀爪 良真
委員会開催日 第3水曜日 委員会予算 ￥400,000-

①2026年度事業方針

野洲青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現に向け運動を展開する上で、会員拡大は最重要課題として、本年度は12名の拡大目標を掲げ、「全員拡大」を推進します。しかし、現状は拡大運動が特定のメンバーに偏っていて、全メンバーが自発的に行動する段階には至っていません。そこで、一人ひとりが青年会議所の魅力を表現し、確信をもって発信できるようになることで全員拡大が実現できると考えます。

まずは、メンバー一人ひとりが青年会議所の魅力を再発見し、自己成長できる「実践の場」を設けます。我々にとっての最大の学びは、事業の「結果」だけでなく、議案構築や準備といった「プロセス」にこそあります。全員参加型の委員会活動を推し進め、チームで議論を重ねることで、メンバーそれぞれが理念や意義を深く理解し、「腹落ち」することを目指します。そして、会員拡大がもたらすメリットを全メンバーで再確認し、さらに意識を高めることで、「全員拡大」を加速させます。次に、野洲のまちづくりをともに行う関係諸団体を招き、我々の運動への理解と協力を得る機会を創出します。これにより、私たちの魅力を対外に伝える体制を整え、「共感」による仲間づくりを推進します。

これらの取り組みにより、会員拡大が「全員の自発的な活動」となり、ひととの出会いを通じて個人の成長と成果を実感できるようになります。この積み重ねが、メンバーが活動に誇りをもち、青年会議所の魅力をそれぞれの言葉で熱意をもって語る「魅力の体現者」へと成長し、組織の発展に直結する好循環が生まれます。共感によって集った新たな仲間とともに、野洲の未来を創る「まちづくり」運動をさらに力強く推進できる組織となります。会員拡大が自ずから行われる組織文化の礎を築き、未来の野洲青年会議所を創ります。

②2026年度事業計画

1月新年例会
5月拡大例会
6月拡大事業例会

③月別委員会活動計画

月	例会	対内事業	対外事業	委員会活動
1	○	○	○	
2				
3				5月例会協議 1月例会決算報告
4				5月例会審議 6月例会協議
5	○	○		6月例会審議
6	○	○	○	
7				5月例会決算報告
8				6月例会決算報告
9				
10				
11				
12				

④主たる活動（事業）の見込み予算

No.	活動（事業）項目	見込み予算	概 要
1	1月例会	¥250,000-	対象 対内・対外
2	5月例会	¥ 50,000-	対象 対内
3	6月例会	¥100,000-	対象 対内・対外
	合 計	¥400,000-	